



経営理念の実現

To Actualize Management Vision

経営理念を実現すること、
それが私たちコスモ石油グループの使命です。

✦ 経営理念の実現のために

経営理念を実現するためには、コスモ石油グループ自身、利益をあげていかなくてはなりません。

また、その事業活動は、社会のルールや企業倫理にしっかりと根ざしたものでなくてはなりません。

そして同時に、エネルギー事業を通じてステークホルダーの皆様の様々なニーズにお応えし、地球環境保全を進めることが重要です。

コスモ石油グループは、こういったことの全てが私たちのCSRであると考えています。

✦ 安定した収益基盤の確立と社会的責任の推進に向けて

連結中期経営計画（2005～2007年度）

コスモ石油グループでは、2005年度から新しい中期経営計画をスタートさせました。

私たちを取り巻く経営環境が、国内においては石油需要の減少や白油※1化の進展といった需要構造の変化、京都議定書発効に代表される環境対策の増大、海外においてはアジア・太平洋エリアにおけるエネルギー市場の拡大、石油需給バランスのタイト化といった大きな構造転換期を迎えるなか、新中計は『将来の構造変化に耐える経営基盤の強化』と、『成長戦略への転換』を柱に策定されてい

ます。

この中期経営計画の基本方針のひとつに「CSR（社会的責任）推進の強化」を掲げています。

また、その具体的な取り組みとして、同じく2005年度スタートの3か年計画、「連結中期CSR計画」を策定しました。

※1…ガソリン・灯油・軽油の総称

連結中期経営計画の基本方針

- ・将来の構造変化に耐える経営基盤の強化
 - ① 安定的収益基盤の確保
 - ② 財務体質の強化
 - ③ CSR（社会的責任）の強化 → 「**連結中期CSR計画**」
- ・成長戦略への転換
 - ① 製油所競争力の強化
 - ② 原油開発や石油化学事業領域の拡大

連結中期CSR計画（2005～2007年度）

● 社会的責任:3つの柱

コスモ石油グループでは社会的責任の3つの柱として、

- ・企業として誠実な経営／事業活動を通して社会との「調和と共生」を図る。
- ・個人が力を発揮できる企業風土から「未来価値」を生み出す。
- ・エネルギーに携わるものとして環境を軸に「持続可能な社会の構築」に寄与する。

ことを掲げています。

3つの柱のキーワードは、「コンプライアンス」「人」そして「環境」です。

— 中期計画:5つの重点項目 —

企業グループとしての社会的責任の実践に向けて、2005年度から連結中期CSR計画を策定し、取り組みを開始しました。今回の連結中期CSR計画は、グループ全体で方向性を合わせてCSR経営に取り組む最初の中期計画であることから、次の5つの重点項目を挙げ、誠実な企業経営を実践する基盤の強化と、社会とコスモ石油グループの調和と共生に取り組んでいきます。

- ① CSR意識の浸透
- ② リスクマネジメントと内部監査機能の強化
- ③ 環境取り組みの高度化
- ④ 万全な安全管理の実施
- ⑤ 人権／人事施策の充実

参照

データ編 p63～64